



## 【万治の石仏】

万治3年11月1日と刻まれており、春宮大鳥居と同じ石工が彫ったとの口伝えがある謎多き石仏。岡本太郎が世に出したことも有名。

江戸時代、中山道で唯一天然温泉が湧く宿場町として多くの旅人や商人や商人で栄えた下諏訪町。諏訪大社下社春宮、秋宮、大灯籠を結ぶ通称「三角八丁」エリアにもたくさんあります。ぜひ下諏訪の街中を巡ってみてはいかがでしょうか。

## 【しもすわ今昔館おいでや】



「時計工房 儀象堂」と「星ヶ塔ミュージアム 矢の根や」からなる施設。1階ではデジタルサイネージなどでまち歩き情報を発信している。

## 【今井邦子文学館(旧松屋)】



かつて宿場の茶屋であった「松屋」を復元した建物。アララギ派の女性短歌結社「明日香」の編集所としても使われた当時の面影が残る。

## 【伏見屋邸】



2010年に復元修理が行われた江戸時代の建築様式や生活用品を展示、無料公開する施設。観光客の休憩場所や住民の交流の場にもなっている。